

～ お客さまファーストの銀行へ ～



THE FIRST BANK OF TOYAMA

2024年3月期
決算概要

2024年5月10日 (金)



もっと好きになる

 富山第一銀行

(東証プライム : 7184)

連結 (百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前年比
経常収益	35,252	38,678	3,425
経常利益	6,326	9,223	2,896
親会社株主に帰属する当期純利益	4,203	5,284	1,080

単体 (百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前年比
業務粗利益	17,770	17,878	108
(除く国債等債券損益)	19,330	21,430	2,099
資金利益	18,100	20,646	2,546
役務取引等利益	1,442	1,444	2
その他業務利益	△ 1,772	△ 4,212	△ 2,439
うち国債等債券損益	△ 1,560	△ 3,551	△ 1,990
経費(除く臨時処理分) (△)	11,270	11,735	464
人件費 (△)	5,447	5,540	93
物件費 (△)	5,043	5,283	239
税金 (△)	779	910	130
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	6,499	6,143	△ 355
コア業務純益	8,060	9,695	1,635
(除く 投資信託解約損益)	7,411	8,474	1,063
一般貸倒引当金繰入額 (△)	4	179	174
業務純益	6,494	5,964	△ 529
臨時損益	△ 572	2,922	3,495
うち株式等損益	328	5,777	5,449
うち不良債権処理額 (△)	840	2,736	1,895
経常利益	5,921	8,887	2,965
特別損益	△ 243	△ 310	△ 67
当期純利益	4,106	5,204	1,097

2024年3月期 連結決算の概要

- **前年度に続いて大幅な増収増益** (5,284百万円〔年率25.7%増〕)

(単体決算の概要)

コア業務純益 (除く投資信託解約損益) 8,474百万円 (年率14.4%増)

- 経費は物件費を中心に増加も、資金利益が貸出金利息・有価証券利息配当金の増加を主要因として順調に推移した結果、銀行の本業利益を表すコア業務純益は **3年連続増益となり、過去最高益**

経常利益 8,887百万円 (年率50.1%増)

- 与信関係費用が増加したものの、株式等売却益でカバーし、「経常利益」は **3年連続の増益**

当期純利益 5,204百万円 (年率26.7%増)

- 好調なコア業務利益の増加によって、**4年連続の増益**

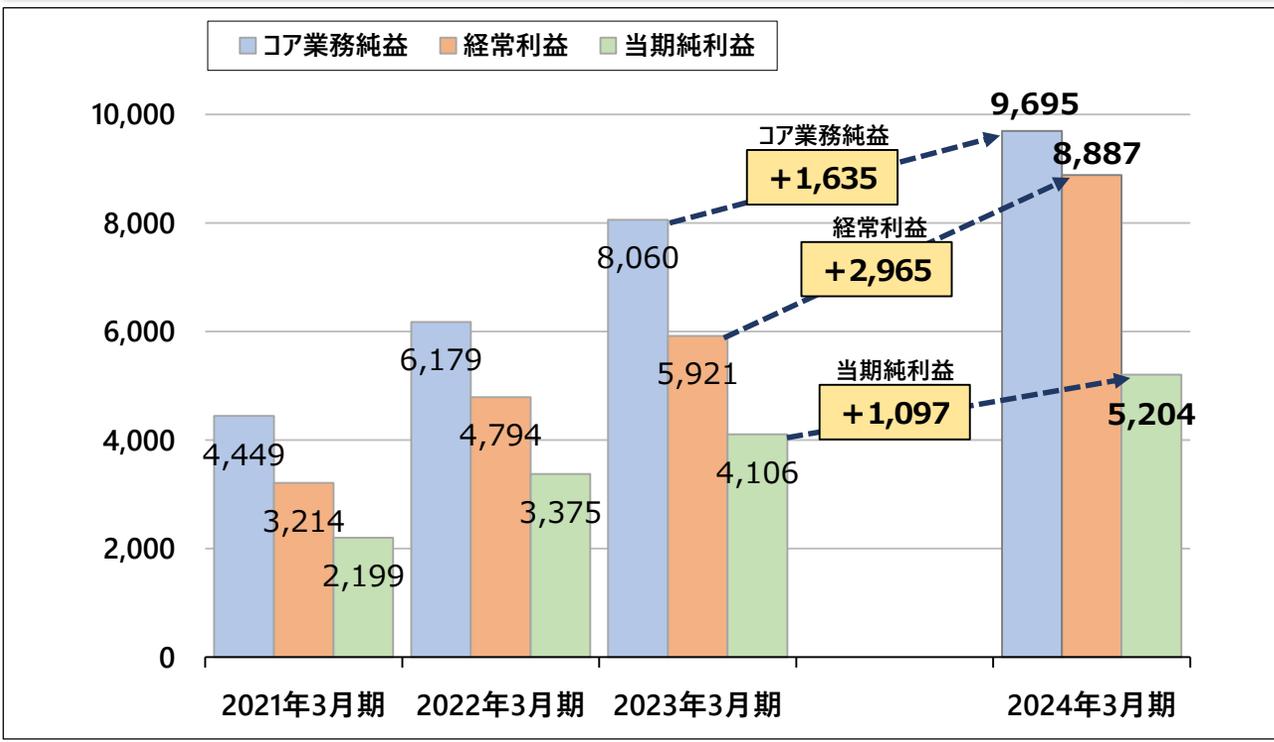
コア業務純益の状況等



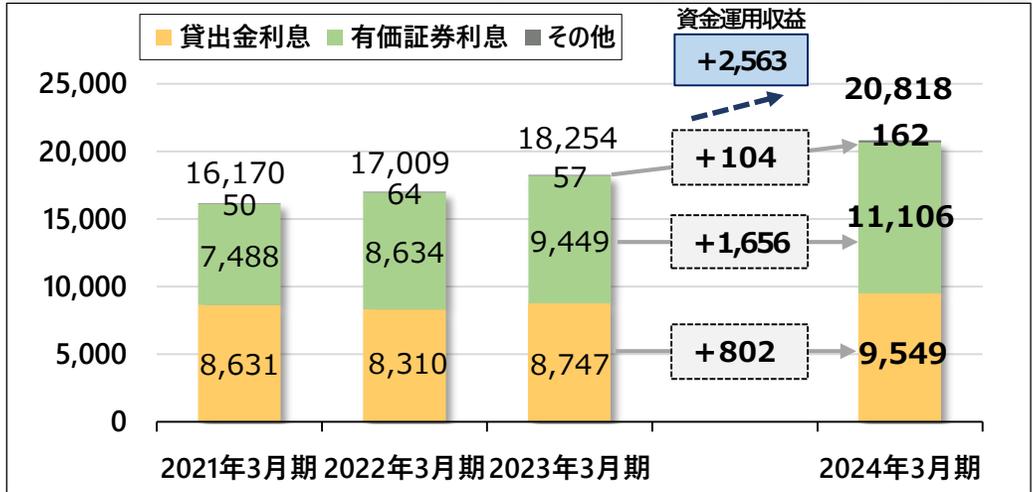
もっと好きになる

- 貸出金利息は残高増加と利回りの改善により **2年連続で増加**
- 有価証券利息配当金は株式・投資信託の増配等から **過去最高水準を更新**
- 役務取引等利益は、取組みを強化してきた **各種コンサルティング業務の成果が拡大、増加基調が継続**

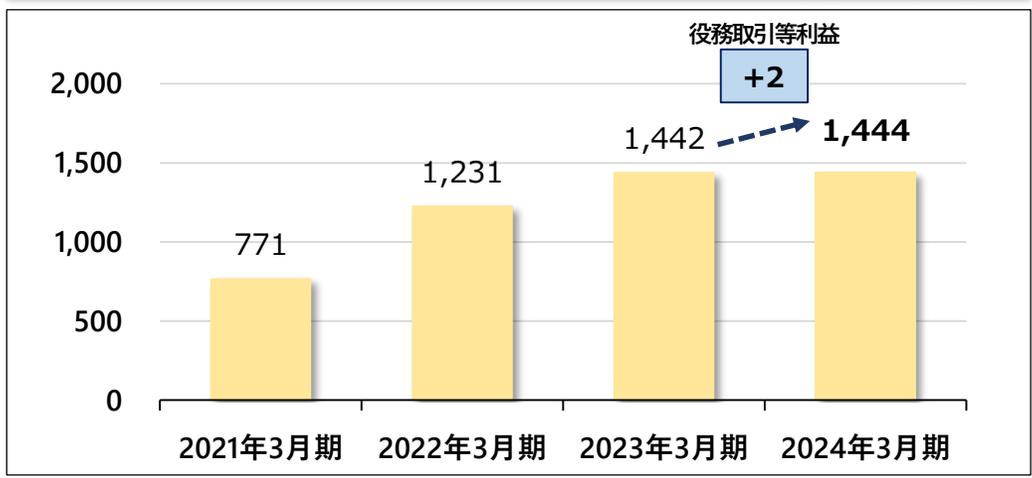
コア業務純益・経常利益・当期純利益の推移 (百万円)



資金運用収益の推移 (百万円)



役務取引等利益の推移 (百万円)



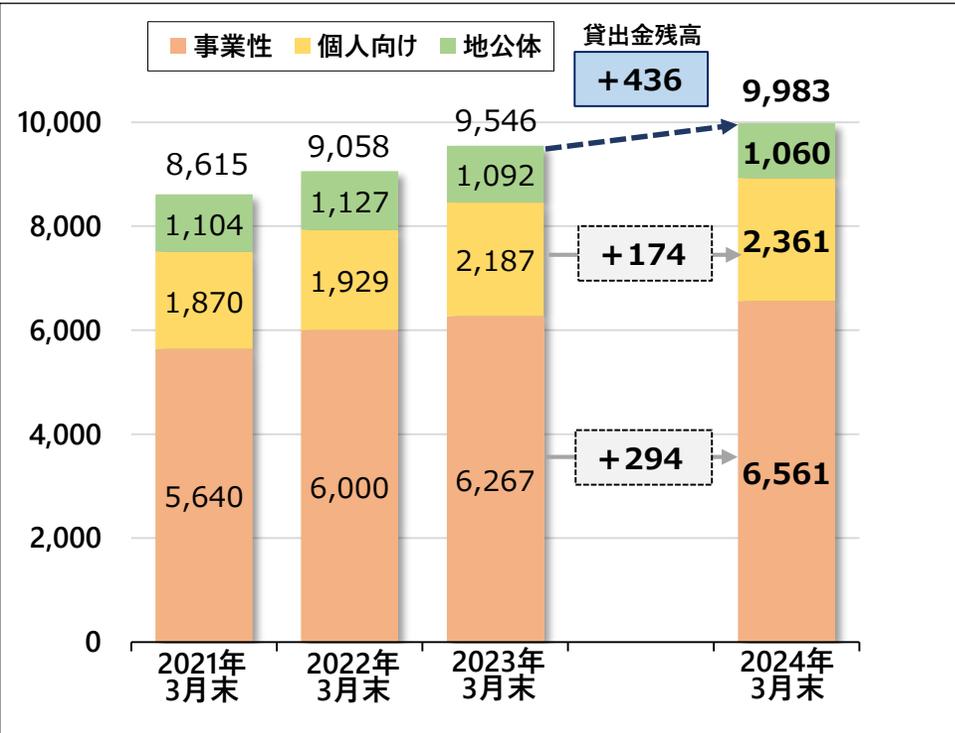
3

貸出金の状況

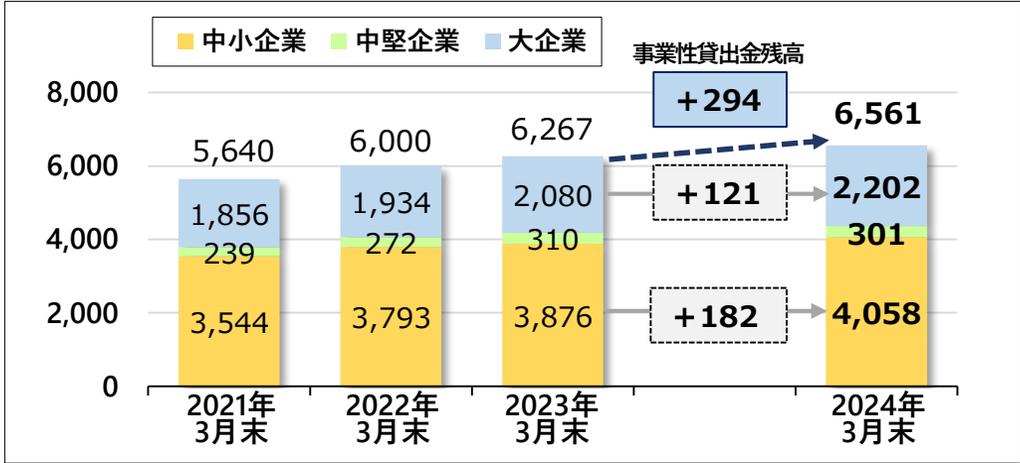


- 貸出金残高は **事業性・個人とも増加**
- 事業性貸出金は、省力化設備への底堅いニーズやコロナ禍後の設備投資・運転資金の拡大、サステナブルファイナンスニーズへの対応により増加
- 商品性が好評を得ている住宅ローンも、**増加基調を継続**

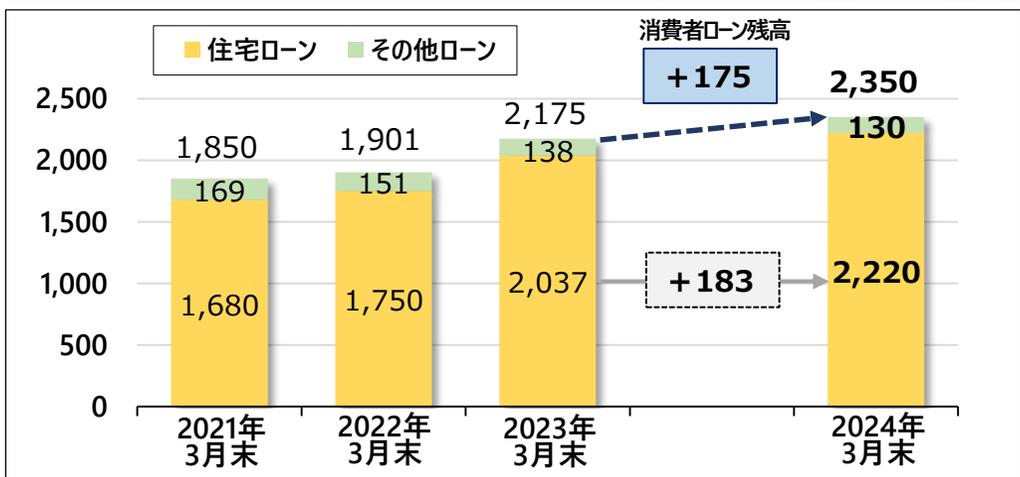
貸出金残高の推移 (億円)



事業性貸出金残高の推移 (億円)

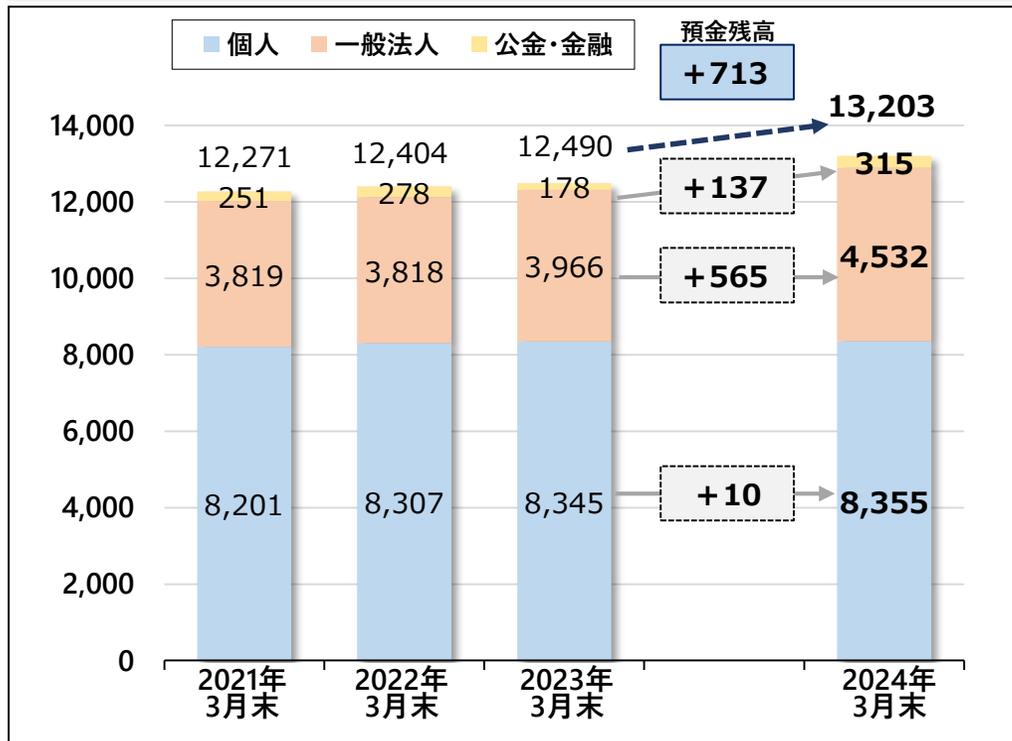


消費者ローン残高の推移 (億円)

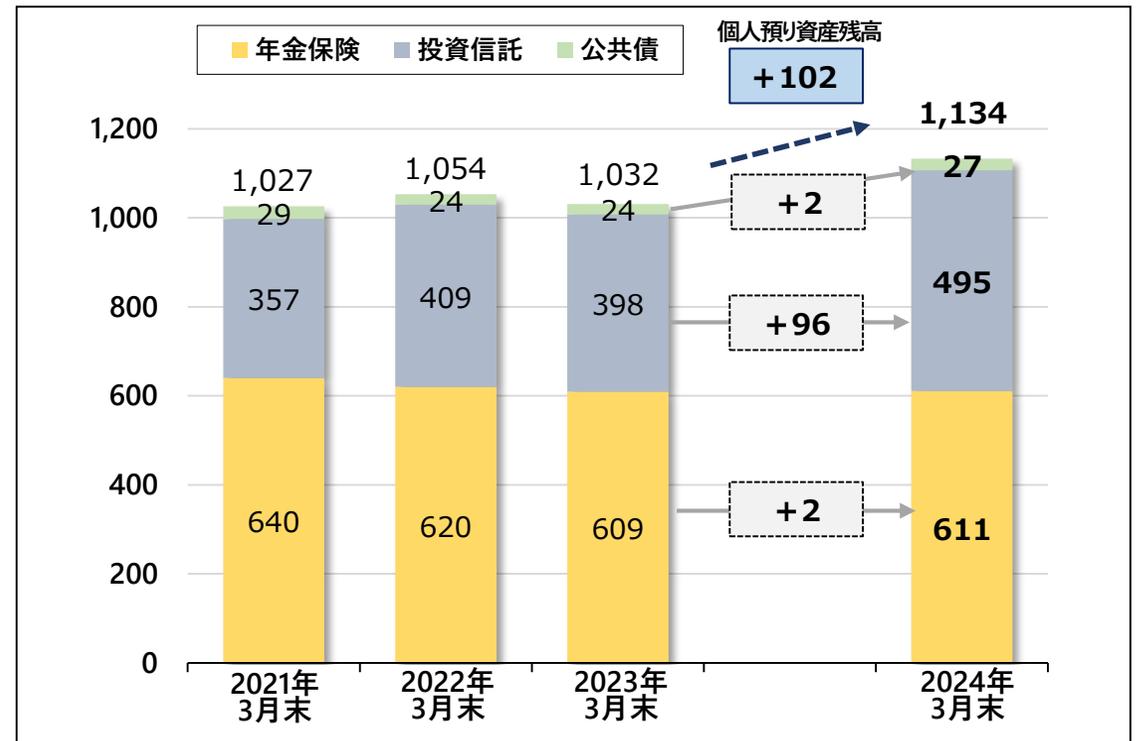


- 預金は、「個人」・「一般法人」・「公金・金融」の各セグメントで着実に増加
- 新NISAを含めた長期の視点による資産形成支援の取組みや、きめ細かなコンサルティング営業の定着により、個人預り資産残高は増加

預金残高（除く譲渡性預金）の推移 (億円)



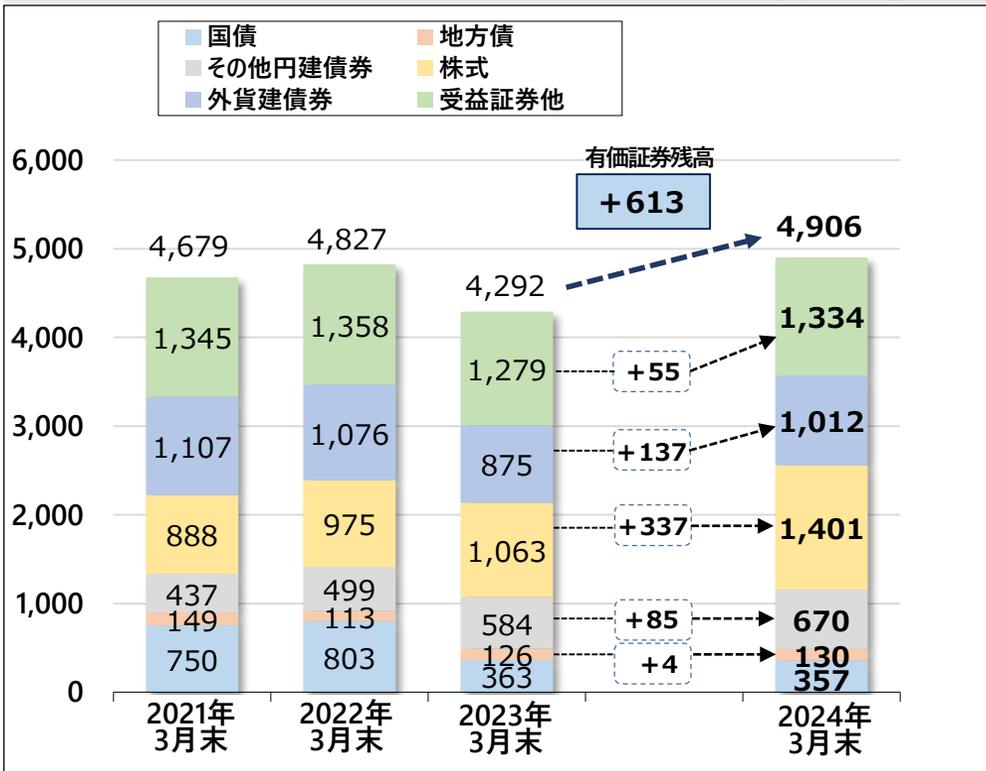
個人預り資産残高の推移 (億円)



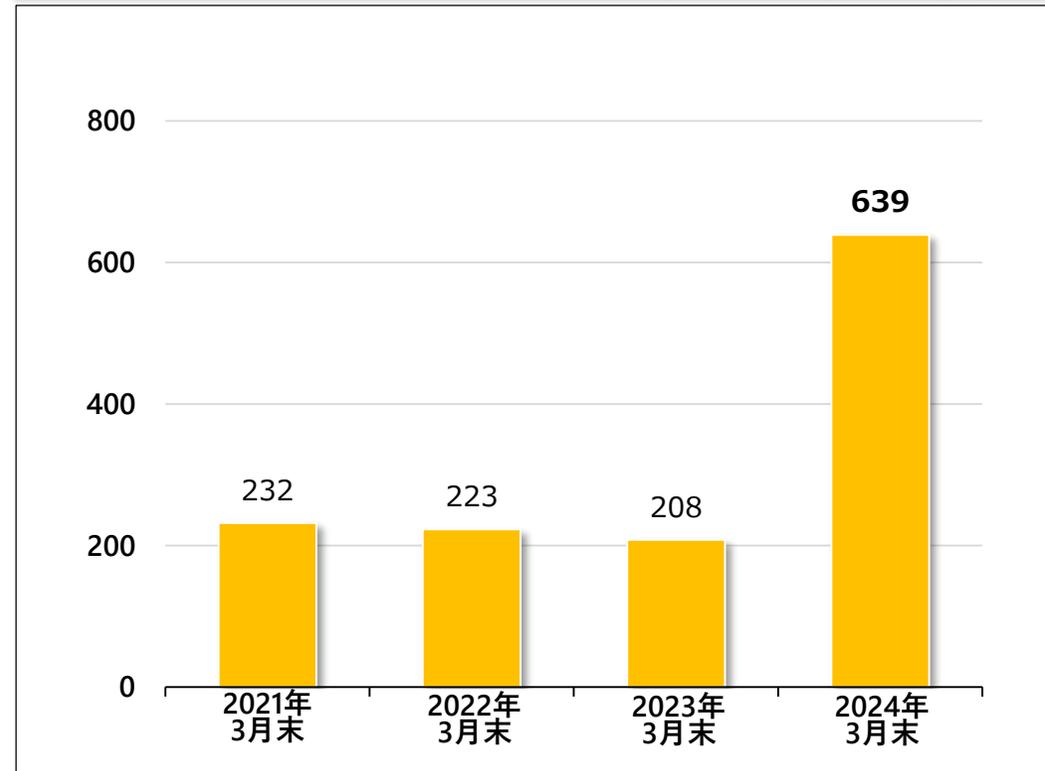
5 有価証券の状況

- 国内金利、株価等の動向を見極め、有価証券を機動的に入れ替え。ポートフォリオの健全性を高めつつ残高を拡大
- 2024年3月末における「その他有価証券評価損益」は639億円と前年末比431億円増加し、過去最高水準を計上

有価証券残高の推移 (億円)



その他有価証券評価損益 (億円)



6 利回り・利鞘の状況 / 経費・コアOHRの状況

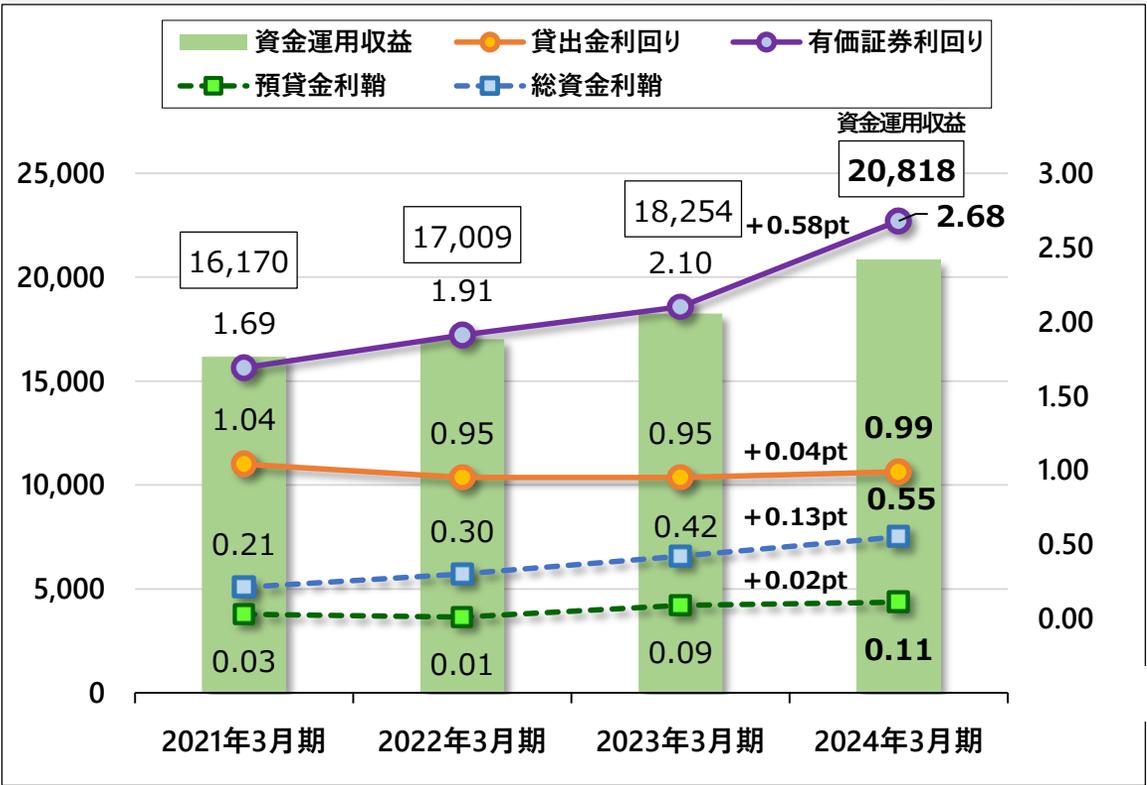


もっと好きになる

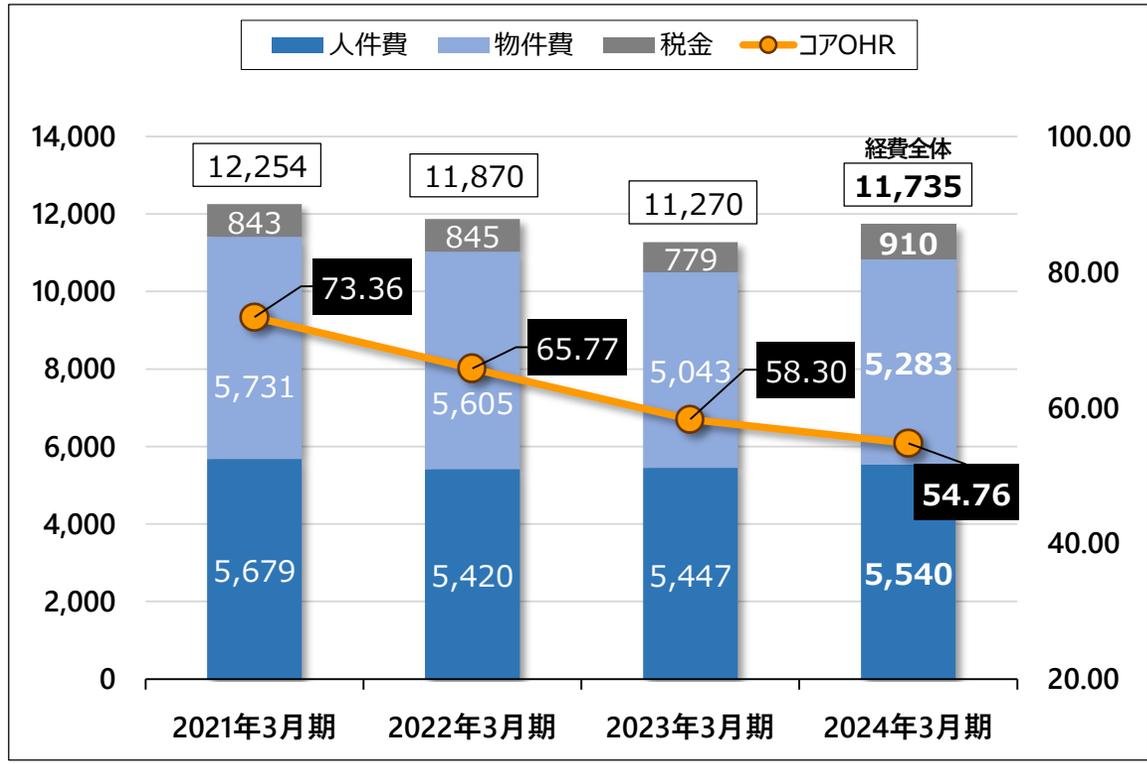


- 有価証券利回りは、**地銀トップクラス**
- 貸出金利回りは、**横這いから上昇基調へ**
- 物価上昇や賃上げによる人件費の増加により経費は増加するも、**コア収益の増加によりコアOHRは改善**

資金運用収益・利回り・利鞘の推移 (左軸：百万円、右軸：%)



経費・コアOHRの推移 (左軸：百万円、右軸：%)



※ コアOHR = 経費 ÷ 業務粗利益 (除く国債等債券損益)

7 将来に向けた資本充実の必要性



もっと好きになる

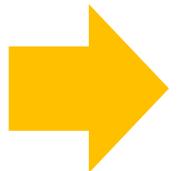
● **改正自己資本比率規制（バーゼルIII）を完全適用した場合（*1）、当行の自己資本比率は今後9%弱まで大きく低下するため、重要課題への対応として、2025年3月期は自己資本を積極的に積み増す**

改正自己資本比率規制（バーゼルIII規制）への対応

バーゼルIII最終化を完全適用した場合

将来に向け資本の充実化を前倒し

9%弱



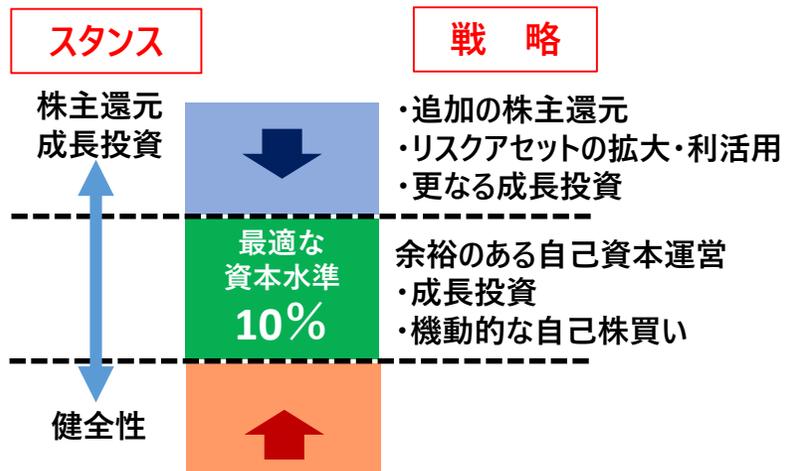
9%台後半へ

(*1) バーゼル規制とは、バーゼル銀行監督委員会が公表している、国際的に活動する銀行の自己資本比率等に関する国際統一基準。バーゼルIIIは、世界的な金融危機の再発を防ぎ、国際金融システムの耐性を高めることを目的として策定。2025年3月から2030年3月末まで段階的に適用され対応が求められる。

資本運営の基本方針

自己資本比率 10%程度を目線とする → 余裕のある自己資本をベースに積極的なリスクテイクを行い、収益力（ROE）を拡大

最適な資本水準の考え方



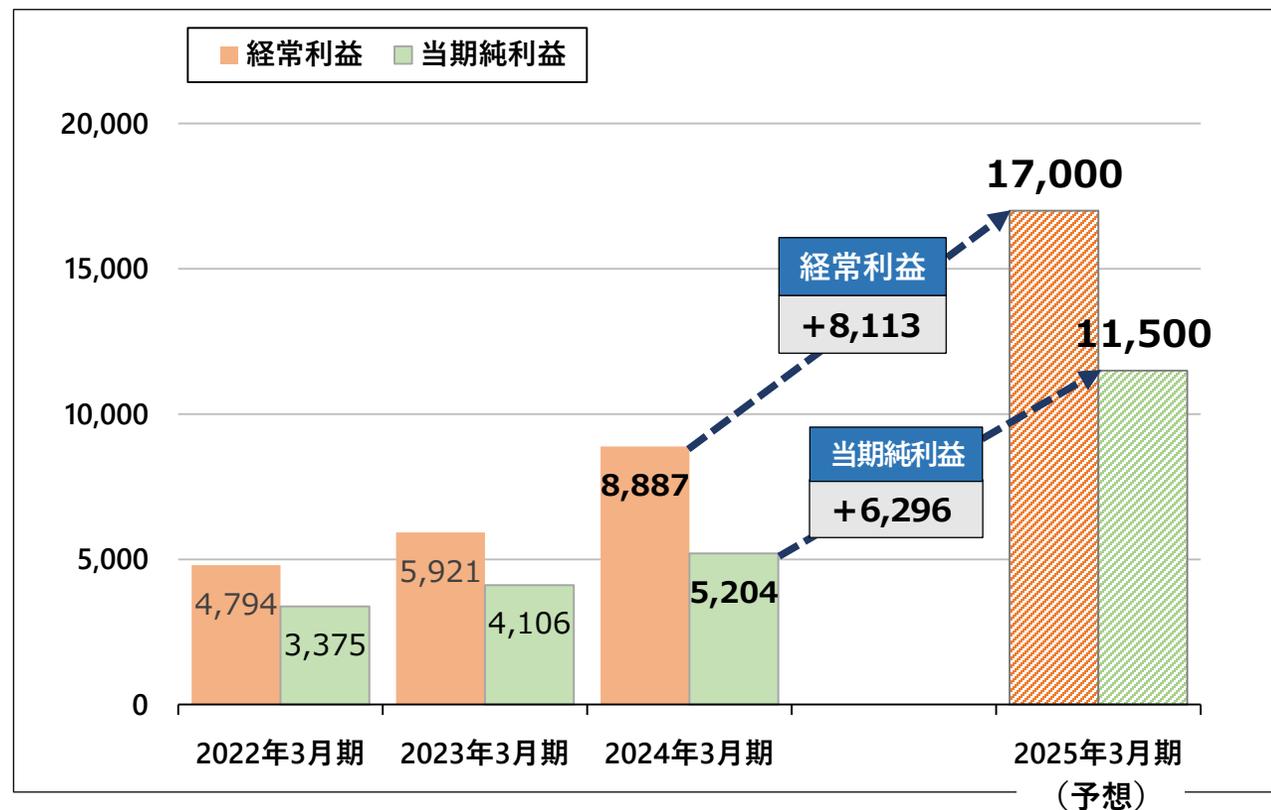
- 2025年3月期の業績予想は、600億円を超える水準となった有価証券評価益の一部を實現益として計上し、2024年3月期対比2倍超の連結利益120億円を予定

連結	(金額単位：百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想
	経常利益	6,326	9,223	17,800
	親会社に帰属する当期純利益	4,203	5,284	12,000
	1株当たり当期純利益	65円40銭	83円03銭	188円55銭

単体	(金額単位：百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想
	経常利益	5,921	8,887	17,000
	当期純利益	4,106	5,204	11,500
	1株当たり当期純利益	63円89銭	81円78銭	180円69銭

経常利益・当期純利益の推移（単体）

（百万円）



9 バーゼルIII最終化を見据えた対応



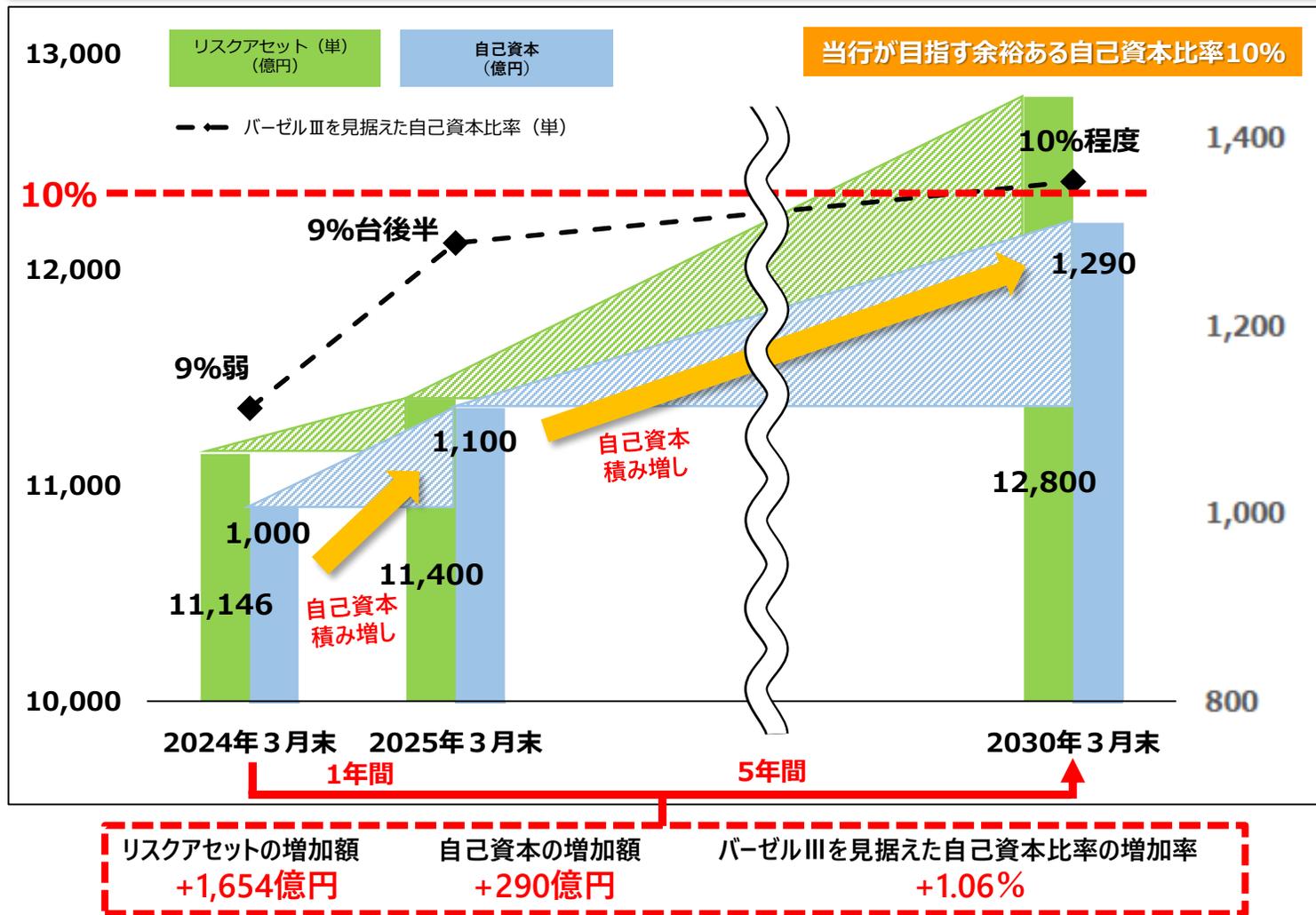
もっと好きになる

- 銀行に求められる高い健全性、追加的なリスクテイク余力を有した資本運営を堅持するための最適な資本水準として、
**自己資本比率10%程度を目線として、
今後も資本運営を継続**

2024年度の対応

- 2030年3月までにリスクアセットは12,800億円（1,654億円増加）へ拡大を想定
- 一方で、バーゼルIII完全実施を見据え、自己資本比率10%を維持するために1,290億円（290億円の積み増し）へと積み増しする必要がある
- 今回自己資本に積み増しするための原資については、
有価証券売却益の一部を充当する
- 2025年度以降は株主への総還元性向を高めつつ、
安定的に内部留保を積み上げることで、自己資本比率10%を維持

自己資本の積み上げの考え方（バーゼルIII完全適用した場合のシミュレーション）



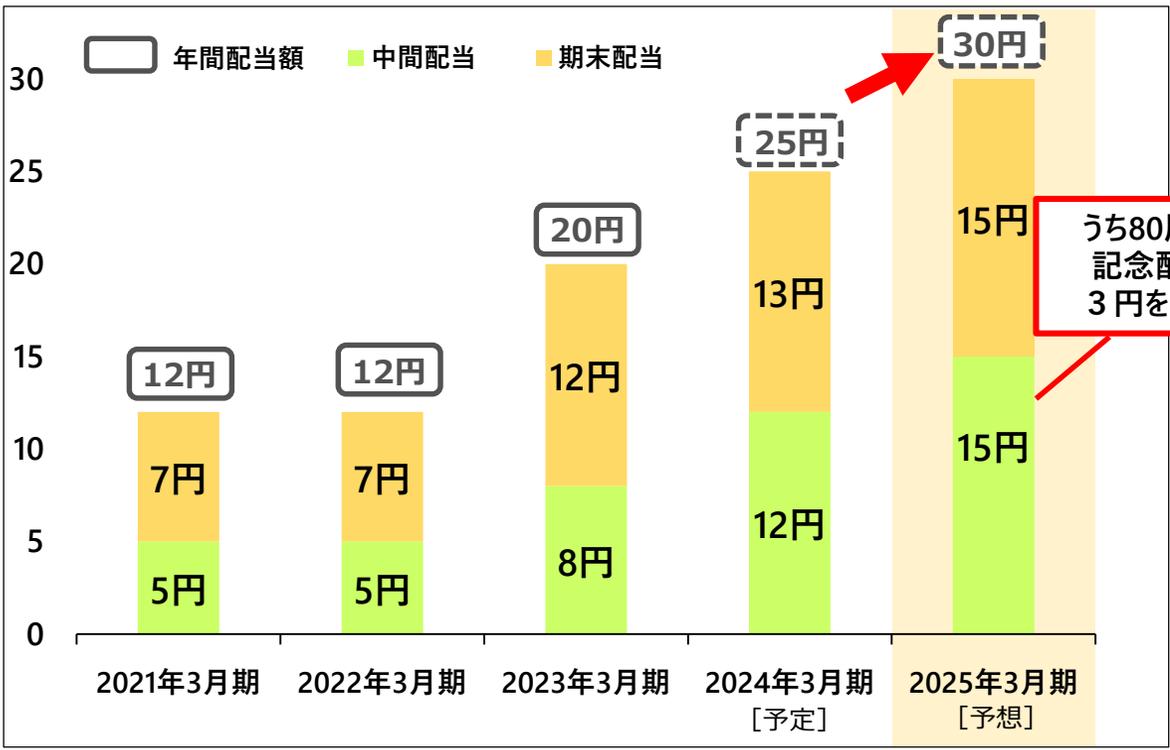
10 剰余金処分



もっと好きになる

- 2024年3月期の期末配当は好調な決算内容を受け、増配の予定。年間を通して5円の増配となる見込み（配当性向30%）
- 2025年3月期の年間配当額は、3円の80周年記念配当を含む30円を想定（2024年3月期対比 更に5円の増配）、剰余を全額内部留保し自己資本を積み増す

配当実績と予想



今期の特例

- ◆ 2025年3月期の年間配当額は、3円の80周年記念配当を含む30円を想定
- ◆ バーゼルIII完全実施後への対応として、配当後の剰余は全額自己資本へ積み増す
- ◆ 2026年3月期以降については、総還元性向の引上げを含めた株主還元強化が可能

- 本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものです。特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載された内容の全部または一部は、予告なしに修正または変更される場合があります。
- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。当該記述につきましては、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等の要因により、実際の数値と異なる可能性があることにご留意ください。

本件に関するご照会先

 **富山第一銀行 総合企画部**

TEL → 076-461-3861

FAX → 076-491-4162

E-mail → souki@first-bank.co.jp

URL → <https://www.first-bank.co.jp/>